

「言い訳」考（その3）

——「弁解」と比較して——

粉 山 洋 介

1. はじめに

本稿は、「言い訳」と「弁解」の類似点と相違点を明らかにすることを狙いとする。まず、2節では、「弁解」には、粉山（2013a）で記述した「『言い訳』の基本的意味」「視点の転換を伴う『言い訳』」「自分に対する『言い訳』」のそれぞれとほぼ同じ意味・用法があることを示す。次に、3節では、「言い訳」と「弁解」の相違点を明らかにする。3.1.では、「言い訳」で言い換えられない「弁解」の用法に注目し、「『言い訳』の基本的意味とは異なる『弁解』」と「当事者自身が、事情説明が妥当である（可能性がある）と思っていることを表す『弁解』」の意味を記述する。3.2.では、「Xを言い訳にしてY」「Y。Xを言い訳にしている」というパターンで用いられる「言い訳」について検討し、この種の「言い訳」は、「『言い訳』の基本的意味」あるいは「自分に対する『言い訳』」に相当することを示す。さらに、この種の「言い訳」が「弁解」で言い換えられないことから、「弁解」の使用の制約についても検討する。4節では、本稿のまとめと今後の課題について簡単に述べる。

2. 「言い訳」と「弁解」の類似点

本節では、粉山（2013a）の「言い訳」の意味記述を踏まえて、「言い訳」と「弁解」には類似した意味・用法があることを示す。なお、両語の意味が近いことは、辞書の記述からも確認できる。『大辞林』（第三版）には、「弁解」の語釈として「言いわけをすること。言いわけ。」（p. 2299）とある。¹⁾また、『新明解国語辞典』（第七版）には、「弁解」について「『言いわけ』の意の漢語的表現」とある。このように、この種の辞書の記述は、両語の意味がほぼ同じであるとするものであるが、3節では、両語の意味には違いもあることに注目する。以下、本節では、「言い訳」の3つの意味について、それぞれに「弁解」にも同様の意味があることを示す。²⁾

2.1. 類似点(1)：「言い訳」の基本的意味

2.1.では、「弁解」には、粉山（2013a）の「『言い訳』の基本的意味」と同様の意味を表す

場合があることを示す。靱山 (2013a) では、例 1 等に基づき、「言い訳」の基本的意味を以下の (A) のように記述した。

- 1 悪意はないのかもしれないけれど——。妻に夫から言われて傷ついた言葉を聞いたところ、一位は「君も太ったね」(中略) だった。

(中略)

なかには産後太りを気にしているが子育てでダイエットができないという女性 (28) に「そんなのは言い訳だ、芸能人は出産しても太らない」と言う夫もいる。(『日経プラスワン』2007年4月21日、日経テレコン21)³⁾

(A) 「言い訳」の基本的意味 (靱山 (2013a: 99))

ある人 (=A) に関して好ましくないことが生じた (=E₁) という状況で、E₁ について、A が「自分は悪くない、自分には責任はない」といった趣旨の事情説明を行った (=E₂) ことに対して、A とは別の person (=B) が、E₂ は E₁ に対する妥当な事情説明ではないと判断した場合に、その判断を表すもの。

例 1 に即して、「言い訳」の基本的意味を (A) のように記述できることを確認する。この例はまず、妻が「産後太り」の状態であり、この状態を、妻本人と夫の両者が好ましくないと思っているという状況に関するものである。また、産後太りの状態に対する事情説明として、妻は「子育てでダイエットができない」と言っている。さらに言えば、妻は、自分が産後太りを解消できないのは、子育てという任務があるからであり、自分の責任ではないと主張していることになる。産後太りに対する、妻のこのような事情説明に対して、夫は妥当ではないと判断し、「そんなのは言い訳だ」と述べているわけである。夫は自分の判断の根拠として「芸能人は出産しても太らない」とも言っており、妻が子育てに忙しい状況であっても、本人の努力次第でダイエットは可能だと考えていることになる。

さて、例 1 の「そんなのは言い訳だ」に対して「そんなのは弁解だ」としても同様の意味を表せることから、「言い訳」と「弁解」はほぼ同じ意味を表す場合があるという見通しが立てられる。続いて、「弁解」を含む以下の例を見てみよう。

- 2 国有林はだれのものだろうか。

いうまでもなく、国が所有、管理する森林であり、つまりは国民全体の財産である。この当たり前のことを忘れて国有林野事業の改革案を考えてはならない。

三兆三千億円を超える借金にあえぐ国有林野事業について、ことしの林業白書は「将来にわたって使命を果たしていくことが困難となるおそれがある」と、はっきり書いた。事

実上の破綻（はたん）宣言である。

これまで四次にわたって経営改善計画が実施されたのに、うまくいかなかった。その理由を林野庁は、輸入材との競合による木材価格の低迷と自然保護の高まりによる伐採量の減少に加え、造林や林道整備のための経費がかさんだためと説明する。

それは弁解に過ぎない。今日の事態を招いた第一の責任は林野庁にあらう。（『朝日新聞』（朝刊）1997年4月18日、聞蔵Ⅱビジュアル）

この例の「それは弁解に過ぎない」は「それは言い訳に過ぎない」としてもほぼ同じ意味を表せる。以下、この例に即して「弁解」の意味を検討し、ここでの「弁解」の意味が、「言い訳」の基本的意味と同様であることを示す。

まず、「国有林野事業」について、「三兆三千億円を超える借金にあえぐ」「これまで四次にわたって経営改善計画が実施されたのに、うまくいかなかった」ということは、（林野庁にとっても国民にとっても）明らかに好ましくないことである。次に、このような状況について、「林野庁」は、「輸入材との競合による木材価格の低迷と自然保護の高まりによる伐採量の減少に加え、造林や林道整備のための経費がかさんだため」という説明をした。この説明は、上記の好ましくない状況に対して、林野庁に（すべての）責任があるわけではないと主張していると理解できるものである。さらに、このような事情説明に対して、この新聞記事の執筆者は、妥当ではない（説得力がない）と判断し、「それは弁解に過ぎない」と述べているわけである。以上から、ここでの「弁解」は、上記の「言い訳」の基本的意味と同様であることがわかる。

さらに、以下の例を見てみよう。

3 組織の長の心得について、もう少し詳しく見て行きます。

（中略）

④「責任自覚」については、日本人はよく「長」になりたがると言われます。しかし、責任をとれる者がどれだけいるでしょうか。「長」には責任が伴うことを忘れず、そして責任を果たすことに注力しなければなりません。また、責任者は下の者の過失に対しても全責任を負うべきです。言い訳や弁解で責任転嫁を計っても、自己の責任は逃れられるものではありません。（「筑波ウェブコーパス」（NINJAL-LWP for TWC））

まず、この例では、「言い訳や弁解」というように両語が並列されている。また、「下の者の過失」という好ましくないことに対する「言い訳や弁解」は「責任転嫁を計る」ことであると述べている。つまり、この例では、「言い訳」と「弁解」は共に「責任転嫁を計る（自分は悪くない）」という妥当性を欠く事情説明であるという同じ特徴を有していることになる。

以上、2.1.では、「弁解」には、『言い訳』の基本的意味」と同様の意味を表す場合があることを示した。

2.2. 類似点(2)：視点の転換を伴う「言い訳」

2.1.で見た「言い訳」と「弁解」は、Aの事情説明を聞いた(Aとは別の)Bが、その事情説明を妥当ではないと判断するという特徴を有するものであった。つまりは、Aの事情説明を妥当ではないと判断し、「言い訳」と表現するのは、Aとは別の人であるBである。また、A自身が自分の事情説明に対して妥当だと思っているか否かは問題にしていないケースである。例えば、例1における妻が、「子育てでダイエットができない」という自分の発言を、「産後太り」の事情説明として妥当だと思っているかどうかは、夫による「言い訳」という語の使用とは無関係であると考えられる。

以下では、Aが、(自分は妥当だと思っている)事情説明をしても、それを聞いた人は妥当な事情説明とは思ってくれないだろうと推定して、「言い訳」という語を用いる場合(「視点の転換を伴う『言い訳』」)を取り上げる。言い換えれば、Aが、自分の事情説明を聞き手の視点に立って判断するという場合である。また、他者の視点に立って判断するとは、当然のことながら、他者の考え・判断を推定することになる。⁴⁾

さて、靱山(2013a)では、例4等に基づき、視点の転換を伴う「言い訳」の意味を以下の(B)のように記述した。

4 「ふつうの女の子に戻りたい」

この言葉を残して「キャンディーズ」が解散し、二十二年がたつ。「ランちゃん」は歌手からベテラン女優になった。(中略)

中学生のころ、プロダクションが運営する音楽学院に入学、歌手の後ろで踊るグループに加わった。一九七二年、歌番組のオーディションに「スー」「ミキ」と合格、「キャンディーズ」と命名され、翌年歌でデビューした。アイドルとして一時代を築いたが、「周囲の優しさをきちんと受けとめる感覚」を失ったような気がして解散した。

約二年後、もともとの志望だった女優に転身し、芸能界に復帰した。「なぜ、戻ってきたの」。周囲から、そんな圧力を感じた。

「言い訳に聞こえるかも知れないけれど、戻るといふより、女優という新しい世界にゼロから飛び込む気持ちだった」(『朝日新聞』(朝刊)2000年2月7日、聞蔵IIビジュアル)

(B) 視点の転換を伴う「言い訳」の意味(靱山(2013a: 105))

ある人(=A)に関して好ましくない(と他者から判断される可能性がある)ことが生じた(=E₁)という状況で、E₁について、Aが行う「自分は悪くない、自分には責任はない」

といった趣旨の事情説明（=E₂）に対して、他者は妥当な事情説明ではないと判断するとAが推定した場合に、その推定を表すもの。

例4に即して、視点の転換を伴う「言い訳」の意味を上記のように記述できることを確認する。この例における「言い訳に聞こえるかも知れないけれど」という「ランちゃん」（伊藤蘭）の発言は、「約二年後、ももとの志望だった女優に転身し、芸能界に復帰した」ということに対する「戻るというより、女優という新しい世界にゼロから飛び込む気持ちだった」という自分の事情説明について、これを聞いた人は妥当な事情説明ではないと判断する可能性がある。伊藤蘭自身が推定したこと、つまりは他者（聞き手）の視点に立ったものであると考えられる。このことは、「言い訳に聞こえるかも知れないけれど」における「聞こえる」が、明らかに「他の人に（そう）聞こえる」という意味であることから確認できる。

ここで、「芸能界に復帰した」ということ自体を伊藤蘭本人がどう思っているのか、また、本人以外がどう判断すると伊藤蘭が推定しているかについて検討する。芸能界復帰について、伊藤蘭本人は好ましくないこと、特に問題になるようなこととは思っていないのに対して、「ふつうの女の子に戻りたい」とまで言って芸能界から引退したのであれば、芸能界に復帰するということは好ましくないことだ（節操のないことだ）と他者は判断するだろうと伊藤蘭は推定していることになる。

また、「戻るというより、女優という新しい世界にゼロから飛び込む気持ちだった」という事情説明についても、本人にしてみれば妥当であると思っているが、復帰自体を好ましくないと判断する他者には、この事情説明も妥当だとは思ってもらえない可能性があると思推定しているわけである。

さて、「言い訳に聞こえるかも知れないけれど」は「弁解に聞こえるかも知れないけれど」に言い換えてもほぼ同じ意味が表せることから、「弁解」も視点の転換を伴う「言い訳」の意味に相当する意味を表せる場合があるという見通しが立てられる。続いて、「弁解」を含む以下の例を見てみよう。

5 米国スリーマイル島の原発事故直後に全国各地で盛り上がった反対運動は、1980年代後半に入ると徐々に下火になった。

長谷川照氏も、「佐賀の自然と文化をまもる会」の活動から徐々に手を引き、自身の研究や学生の指導に力を注ぐようになっていった。

理工学部には91年に大学院博士課程が設置され、研究室にはいつしか10人を超える学生が所属するようになっていた。優秀な学生や研究費の確保など大学の仕事に追われた。

《「弁解に聞こえるかもしれないが、地方大学の質を高めようという使命感のようなものがあったね。そのうち、原発のことを振り返る余裕がなくなった。私も国や九電が言う

『安全神話』にだまされた結果となってしまった』(『朝日新聞』(朝刊)2013年6月22日、聞蔵IIビジュアル)

まず、この例の「弁解に聞こえるかもしれないが」は「言い訳に聞こえるかもしれないが」と言い換えてもほぼ同様の意味を表せる。以下、この例に即して「弁解」の意味を検討し、ここでの「弁解」の意味が、視点の転換を伴う「言い訳」の意味と同様であることを示す。

まず、長谷川照氏が、「佐賀の自然と文化をまもる会」の活動から手を引いたことは、長谷川氏に関して好ましくない(と他者から判断される可能性がある)ことである。このことについての「地方大学の質を高めようという使命感のようなものがあってね」という自身の事情説明に対して、他者は妥当な事情説明ではないと判断すると長谷川氏が推定し、「弁解(に聞こえるかもしれないが)」と述べているわけである。

以上、2.2.では、「弁解」には、視点の転換を伴う「言い訳」と同様の意味が認められる場合があることを確認した。

2.3. 類似点(3): 自分に対する「言い訳」

2.3.では、「弁解」には、「自分に対する『言い訳』」という「言い訳」の用法に対応する場合もあることを見る。まず、自分に対する「言い訳」とは、「(……と)自分に言い訳する」といった表現に対応する用法のことである。

ここで、まず、自分に対する「言い訳」について、粉山(2013a、2013b)に基づき簡単に確認する。まず、以下の実例を見てみよう。

6 スイーツの衝動買い。クッキー、ラスクにパイと、食器棚には両手で抱えきれないくらいどっさり。旦那の帰りを待ちつつ夕食を作りながら、一口、もう一口……。帰宅したなって音がすると、戸棚をす〜っと閉めて隠しちゃう。せめて半分以下にしたい。でも、新婚2年目。先にご飯を済ませるより、スイーツでつないで一緒に食べた方がいいよねって自分に言い訳する。(『朝日新聞』(夕刊)2011年12月16日、聞蔵IIビジュアル)

まず、例6の「自分に言い訳する」は「自分に弁解する」と言い換えることができる。また、この例では、まず、「旦那の帰りを待ちつつ夕食を作りながら、スイーツを食べ過ぎてしまう」ということを、当事者は好ましくないことと思っている。また、このことについての事情説明として、「先にご飯を済ませるより、スイーツでつないで一緒に食べた方がいい」とも思っている。ただし、この事情説明を自分自身、(十分に)妥当だと思っていないと考えられる。このことは、まず、「せめて半分以下にしたい」という部分からわかる。また、「スイーツでつないで一緒に食べた方がいいよねって自分に言い訳する」とあるが、もし自分の事情説明

を妥当だと判断しているのであれば、「言い訳する」とは言わずに、「スイーツでつないで一緒に食べた方がいいよねって自分自身(大いに)納得する」等と表現するであろう。以上に基づき、「自分に対する『言い訳』」の意味をまとめると、以下の(C)のようになる。

(C) 自分に対する「言い訳」の意味 (靱山 (2013a: 107))

ある人 (= A) に関して好ましくないことが生じた (= E₁) という状況で、E₁について、Aが「自分は悪くない、自分には責任はない」といった趣旨の事情説明を思いついた (= E₂) 際に、A自身が、E₂はE₁に対する妥当な事情説明ではないと判断した場合に、その判断を表すもの。

次に、「自分に弁解した」という表現を含む以下の例を見てみよう。

7 “百姓志願”が陶器づくりにはまる (俵萌子さんの田園暮らし)

その時期、事情が一変する出来事が起きる。村のPTAから、教育問題について講演を頼まれたのだ。

「なにぶんPTAだから予算がないもので、どうだろう。ギャラは、一年分の野菜と鹿の肉ということで……」

しかし、これを引き受けたおかげで、わが家はその後、野菜に不自由しなくなる。季節、季節に届く見事な野菜を見るたびに、“百姓志願”の志は、日に日に萎(な)えていくのだった。

(中略)

畑を作る予定だったところに工房を作り、野菜のかわりに皿を作りながら、(ま、いいか。どちらも土の仕事だもの。食べものか、食べものを入れるものかの違いだけだ)

と自分に弁解した。(『朝日新聞』(夕刊)1996年6月8日、聞蔵IIビジュアル)

この例の「自分に弁解した」も「自分に言い訳した」と言い換えることができる。なお、この例は、もともと「百姓志願」であった俵萌子さんが、ふとしたきっかけで陶芸にはまり、「畑を作る予定だったところに工房を作り、野菜のかわりに皿を作る」ことになったという話である。さて、「畑で野菜を作るつもりだったのが、工房で皿を作るようになった」ということは、初志を貫徹できなかったという意味では、本人にとって好ましくないことである。そして、このことに対して、「ま、いいか。どちらも土の仕事だもの。食べものか、食べものを入れるものかの違いだけだ」という考え(事情説明)を心に抱いているわけである。さらに、この事情説明は、初志を貫徹できなかったことに対して(十分な)妥当性を有していないと判断

して、「自分に弁解した」と述べていると考えられる。

以上、2.3.では、「弁解」にも、「自分に対する『言い訳』」に相当する用法があることを確認した。

2.4. まとめ

以上、2節では、「弁解」には、「『言い訳』の基本的意味」「視点の転換を伴う『言い訳』」「自分に対する『言い訳』」のそれぞれとほぼ同じ意味・用法があることを、具体例に基づき確認した。

3. 「言い訳」と「弁解」の相違点

3節では、「言い訳」と「弁解」の相違点に注目する。3.1.では「弁解」のみが使える場合を取り上げ、3.2.では「言い訳」のみが使える場合を検討する。まず、以下の例を見てみよう。

- 8 最初から検察側の主張を信じ込み、「被告人はうそをつく」と決めつけている裁判官もいます。確かに刑を逃れるため、うそや言い訳をする被告人がいるのは事実です。しかし、それに慣れて「この被告人もまたか」としか考えられないのなら、裁判官の資格はありません。

(中略)

被告人が否認しているなら弁解に謙虚に耳を傾ける。捜査権力を信用しない。権力は常に腐敗するおそれがあると意識する。裁判官が決して忘れてはいけないことです。(『朝日新聞』(朝刊)2016年11月16日、聞蔵IIビジュアル)

この例では、まず「うそや言い訳をする被告人がいる」とあり、ここでの「言い訳」は、前節で見た「言い訳」の基本的意味と考えられ、「弁解」で言い換えることができる。つまり、被告人による(刑罰を受ける可能性がある)好ましくないことに対する事情説明を、裁判官が妥当ではないと判断する場合を「(被告人が)言い訳(をする)」と述べているわけである。

一方で、「(裁判官が被告人による)弁解に謙虚に耳を傾ける」とあり、この場合、「言い訳に謙虚に耳を傾ける」とは言えない。つまりは、「弁解」は「謙虚に耳を傾ける」に値する場合もあることになり、「言い訳」と異なり、妥当な事情説明である可能性もあるという見通しが得られる。

3.1. 「弁解」のみ使える場合

3.1.では、「弁解」のみが使える例(「言い訳」では言い換えられない例)を検討し、「弁解」

と「言い訳」の違いの一面を明らかにすることを目指す。

まず、好ましくないことが起きた当事者が行う事情説明に対して、事情説明の聞き手（あるいは、読み手）がその妥当性を判断するという場合の「弁解」を取り上げる。なお、『「言い訳」の基本的意味』も、2.1. で見たとおり、同様の事情説明に対する聞き手の観点からの判断を表す。ただし、「言い訳」の場合、その判断は、事情説明が妥当ではないとするものである（上記(A)を参照）。次の例を見てみよう。

9 私は、令状事務を担当する裁判官です。毎日、検察庁から被疑者が勾留質問を受けるため、裁判所にやってきます。私は、彼らに被疑事実の要旨を告げ、その弁解を聴いて、勾留するかどうかを判断しています。（「筑波ウェブコーパス」(NINJAL-LWP for TWC)）

まず、例9の「その弁解を聴いて」を「その言い訳を聴いて」に言い換えることはできない。なお、「被疑事実」は被疑者にとって（刑罰を受ける可能性がある）好ましくないことであり、このことは「言い訳」の場合と同じである。一方、この例によると、被疑事実に対する被疑者の「弁解」を聴いて、裁判官が勾留するかどうかを判断するということであるから、被疑事実に対する被疑者の事情説明である「弁解」に対して、裁判官が妥当な説明だと判断する可能性があるということである。つまり、「言い訳」とは異なり、「弁解」は、ある人（=A）に関して好ましくないことが生じた（=E₁）という状況で、E₁について、Aが「自分は悪くない、自分には責任はない」といった趣旨の事情説明を行った（=E₂）ことに対して、Aとは別の人（=B）が、E₂はE₁に対する妥当な事情説明であると判断する場合もあることになる。以上の分析に基づき、『「言い訳」の基本的意味とは異なる『弁解』の意味』を以下の(D)のようにまとめることができる。

(D) 「言い訳」の基本的意味とは異なる「弁解」の意味

ある人（=A）に関して好ましくないことが生じた（=E₁）という状況で、E₁について、Aが「自分は悪くない、自分には責任はない」といった趣旨の事情説明を行った（=E₂）場合に、その事情説明が妥当であるか否かが、Aとは別の人（=B）の判断の対象になるもの。

なお、「弁解」のすべての意味・用法をこのように集約できると言っているわけではなく、「弁解」には、「言い訳」とは異なる、このような特徴を有する意味もあるという主張にとどまる。つまり、2.1. で見たように、Aの事情説明に対して、Bが「そんなのは弁解だ／弁解に過ぎない」等と言った場合の（「言い訳」で言い換えられる）「弁解」は、あくまで、「言い訳」の基本的意味と同様であると考えられる。さらに、次の例を見てみよう。

- 10 南……高石は唇を噛み締めた。まずいぞ。どうやら本社は、君一人を悪人に仕立て上げようとしているようだ。反論しなければ、このまま事実として確定してしまうかもしれない。いつまで隠れているつもりなんだ？ 早く姿を現して、きちんと弁解してくれ。まだ話していないことがあるはずだ、と高石は確信していた。(堂場瞬一『警察回りの夏』、p. 287、集英社文庫)

この例の「きちんと弁解してくれ」という表現も「きちんと言い訳してくれ」と言い換えることはできない。この例では、まず、南という人物について、「(どうやら) 本社は、君一人を悪人に仕立て上げようとしている (ようだ)」という好ましくない状況が生じている。このような状況で、南自身は姿を隠して、事情説明をまったく行っていない。これに対して、高石(事件の外部調査委員会の委員長であり、南の学生時代の恩師でもある)は「きちんと弁解してくれ」という強い希望を心に抱いている。高石がこのように望むのは、「きちんと弁解すれば」南の身の潔白が証明される可能性があるからである。この例からもわかるように、「弁解」は、聞き手が妥当な事情説明であると判断する可能性があるわけである。

次に、好ましくないことが起きた当事者が事情説明をし、その事情説明について当事者自身が妥当である(可能性がある)と思っていることを表す「弁解」を取り上げる。

なお、2節で見た「言い訳」にはこの種の用法はない。「言い訳」は、まず、『「言い訳」』の基本的意味の場合、あくまで、好ましくないことが起きた当事者の事情説明に対して、当事者とは別の人(聞き手)が妥当ではないと判断したことを表すものである。また、「視点の転換を伴う『言い訳』」の場合、好ましくないことが起きた当事者が、自分が行う事情説明に対して、他者が妥当な事情説明ではないと判断すると当事者が推定した場合に、その推定を表すものであり、事情説明の妥当性に対する当事者自身の判断を表すものではない。さらに、「自分に対する『言い訳』」の場合、好ましくないことが起きた当事者が、自分が思いついた事情説明が妥当ではないと判断した場合に、「(……と) 自分に言い訳する」等の表現をするわけである。

では、「弁解」を含む、以下の例を見てみよう。

- 11 趣味で危険を冒し、迷惑をかける。山岳遭難に対して、よく聞く批判だ。迷惑は事実だが、かつての山屋として弁解したい。

一部の無謀登山は別にして、冬山を目指す岳人は「危険」は冒さない。雪崩の起きる谷筋には入らない。どんな訓練や経験を積んでも避けられないのが「危険」。自らの力、技量を高めて克服するのが「困難」。登山もスポーツ。より高く、より厳しく、を求めた上での失敗は一概に責められない。

が、失敗の代償は大きい。当事者、関係者の気持ちを思うと心が痛む。せめて失敗の

「なぜ」を検証できたら、と思う。(『朝日新聞』(朝刊) 1998年1月22日、聞蔵Ⅱビジュアル)

まず、例11の「かつての山屋として弁解したい」という表現は「かつての山屋として言い訳したい」と言い換えることはできない。つまり、ここでの「弁解」は、2節で見た「言い訳」の3つの意味・用法のいずれにも対応しない、「弁解」独自の用法であることになる。

さて、例11では、「趣味で危険を冒し、迷惑をかける」と一般に考えられている「山岳遭難」という(当事者にとっても関係者にとっても)好ましくないことについて、筆者は「弁解したい」と記している。なお、この筆者自身が山岳遭難を経験したことがあるか否かは不明であるが、「かつての山屋」とあるように、「登山家(山屋/岳人)」の側に立って山岳遭難を問題にしており、本稿では、このような立場の人も含めて、好ましくないことの当事者と考える。

また、この例には、「どんな訓練や経験を積んでも避けられないのが『危険』」「より高く、より厳しく、を求めた上での失敗は一概に責められない」とあることからわかるように、筆者は山岳遭難には避けられない面があるという事情説明をすることを望んでいるわけである。さらに言えば、著者は山岳遭難は登山家に全面的に責任があるわけではないと言いたいと考えられる。このように、筆者が「弁解したい」内容は、筆者自身が妥当であると思っている事情説明であることになる。さらに、「弁解する」当事者が、事情説明を妥当だと思って発言しているということは、当然のことながら、聞き手(読み手)にも、その事情説明の妥当性を共有することを望んでいることになる。

以上から、この種の「弁解」の意味は、以下の(E)のようにまとめることができる。

(E) 当事者自身が、事情説明が妥当である(可能性がある)と思っていることを表す「弁解」ある人(=A)に関して好ましくないことが生じた(=E₁)という状況で、E₁について、Aが「自分は悪くない、自分には責任はない」といった趣旨の事情説明を行い(=E₂)、A自身が、E₂はE₁に対する妥当な事情説明である(可能性がある)と思っていることを表す。

さらに、以下の例を見てみよう。

12 この詩は、親に好評ではあったのですが、上野さんとしてはちょっと複雑だったようです。ひたすら謝り、弁解に努めざるをえませんでしたが、なんとか許してもらえました。(『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(NINJAL-LWP for BCCWJ))

この例の「弁解に努めざるをえませんでした」も「言い訳に努めざるをえませんでした」と言い換えることはできない。また、「弁解に努める」と言えるということは、好ましくないこ

とが生じた著者自身が、弁解の内容が妥当である（可能性がある）と思っていることが前提になる。さらに、その内容について、聞き手にも納得してもらうことを望んでいると考えられる。また、この例では「なんとか許してもらえました」とあるように、実際、納得してもらうということが実現したわけである。

以上、3.1.では、「言い訳」で言い換えられない「弁解」の用法に注目し、「(D)『言い訳』」の基本的意味とは異なる『弁解』と「(E)当事者自身が、事情説明が妥当である（可能性がある）と思っていることを表す『弁解』」の意味を記述した。(D)と(E)の共通点は、好ましくないことに対する事情説明が妥当である可能性があるということである。一方、(D)と(E)の相違点は、(D)では、事情説明の妥当性を判断するのは事情説明の聞き手であるのに対して、(E)では、好ましくないことの当事者が、自身の事情説明が妥当である（可能性がある）と思っているということである。

3.2. 「言い訳」のみ使える場合

3.2.では、「言い訳」のみが使える（「弁解」では言い換えられない）場合について検討する。なお、結論を先取りすると、このような「言い訳」は、「(A)『言い訳』」の基本的意味」と「(C)自分に対する『言い訳』」に相当するものである。まず、次の例を見てみよう。

- 13 倒産前後の企業に対し、経営再建に向けた運転資金などを融資する「DIPファイナンス」の第一人者。(中略)

日本興業銀行(現みずほフィナンシャルグループ)の新人時代はよく怒られたという。「書類に不備がある」「文書が間違っている」。どんなにしかられても「辞めたい」とは思わなかった。ましてや「女だから」と言い訳するのは許せなかった。「無断欠勤の末、辞めてしまう女性もいる。性別を言い訳にして甘えてはプロ失格」。均等法第一世代として男性と伍(ご)してきた。辛らつな言葉が飛び出すのも「女性が自ら制限しなければ、無限の可能性があると固く信じるからだ」。(『日本経済新聞』(夕刊)2007年5月28日、日経テレコン21)

この例では、「『女だから』と言い訳する」と「性別を言い訳にして」というように「言い訳」が二度使われている(1つは「言い訳する」という動詞)。さらに、この2つの表現はほぼ同じことを表している。ただし、「『女だから』と弁解する」とは言えても、「性別を弁解にして」とは言えない。

以下、「弁解」では言い換えられない「言い訳」について見ていく。特に、「性別を言い訳にして甘えて(はプロ失格)」等のように、「Xを言い訳に(して)Y」等のパターンで用いられる「言い訳」について見ていく(なお、この場合のYも「好ましくないこと」である)。

3.2.1. 「自分に対する『言い訳』」に相当する場合

3.2.1. では、2.3. で取り上げた「(C) 自分に対する『言い訳』」に相当する「Xを言い訳にしてY」「Y. Xを言い訳にしている」というパターンで用いられる「言い訳」について検討する。まず、以下の例を見てみよう。

14 90歳になる父は昨年、喉頭（こうとう）がんの手術を受け、声を失いました。話すことや歌うことが好きだったので、どれほどつらいかと思いますが、気力を失うことなく、以前と同じように身の回りのことは自分でし、買い物にも出かけています。

私はその父の強さに甘え、遠いことを言い訳にして、東京の実家に行く回数も少なくなっています。（『朝日新聞』（朝刊）2016年10月4日、（声）小原みど里、聞蔵Ⅱビジュアル）

まず、この例の「遠いことを言い訳にして」は「遠いことを弁解にして」と言い換えることはできない。さて、「東京の実家に行く回数も少なくなっている」ということは、筆者自身（と父親）にとって好ましくないことである。このことの原因として、筆者の頭の中には「遠い」ということがあるわけだが、この「遠い」ということは、「東京の実家に行く回数も少なくなっている」ことに対する妥当な理由ではないと筆者自身が判断し、「言い訳」という語を使っていると考えられる。言い換えれば、たとえ遠くとも、筆者がもっと努力すれば、実家に行く回数を増やせると思っているということである。

ポイントを確認すると、まず、「遠い」ということは、何らかの具体的な発話（言葉で表現されたもの）に対応するものではない。また、「遠い」ということが「東京の実家に行く回数も少なくなっている」ことに対する妥当な理由ではないという判断は、筆者自身によるものである。

以上からわかるように、ここでの「言い訳」は、「(C) 自分に対する『言い訳』」（以下に再掲）と同じ意味を表すと考えられる。

(C) 自分に対する「言い訳」の意味（再掲）

ある人（=A）に関して好ましくないことが生じた（=E₁）という状況で、E₁について、Aが「自分は悪くない、自分には責任はない」といった趣旨の事情説明を思いついた（=E₂）際に、A自身が、E₂はE₁に対する妥当な事情説明ではないと判断した場合に、その判断を表すもの。

あらためて確認すると、「東京の実家に行く回数も少なくなっている」という、筆者に関する好ましくない状況について、「遠い（から）」という（「自分は悪くない」という）事情説明

を思いついたが、その事情説明はその好ましくないことに対して妥当なものではないと筆者自身が判断して「言い訳」という語を使っているわけである。

以上のように考えられることは、例14の「遠いことを言い訳にして、東京の実家に行く回数も少なくなっています」という表現が「(C) 自分に対する『言い訳』」の典型的な例である以下の例15とほぼ同じ内容を表していることから確認できる。

15 (最近) 東京の実家に行く回数も少なくなっている。「でも、東京は遠いからなあ」と
自分に言い訳する。

なお、例15の「言い訳する」は「弁解する」で言い換えられるのに対して、例14の「(遠いことを) 言い訳 (にして)」は「弁解」で言い換えられないことから、「弁解」には以下のような制約があると考えられる。「弁解」が使えるのは、その内容が、例15の「でも、東京は遠いからなあ」というような具体的な発話に対応する場合に限られるということである。なお、「でも、東京は遠いからなあ」という表現は、音声として発せられたものではなく、筆者の頭に浮かんだだけのものである可能性もあるが、このような場合も具体的な発話に相当するものと見なす。

次に、以下の例を見てみよう。

16 20代のころは10キロを35分で走ることができた。しかし、それから30年経ったいま、
まったく運動をしていない。仕事が忙しいことを言い訳にしているが、いま10キロ走ったら、心臓発作を起こすのではないかと心配なぐらいだ。(『朝日新聞』(朝刊) 2014年1月1日、(声) 堤和秀、聞蔵IIビジュアル)

例16の「言い訳」も「弁解」で言い換えることはできない。この例では、「いま、まったく運動をしていない」(Y)という、筆者自身にとって好ましくないことを先に述べ、それに続いて、「仕事が忙しい」(X)という事情説明をしている。つまり、「Y. Xを言い訳にしている」というパターンである。

この例においても、「仕事が忙しいことを言い訳にしている」というように「言い訳」という語を用いているのは、「仕事が忙しいこと」は、「いま、まったく運動をしていない」ことに対する妥当な理由ではないと筆者自身が判断した結果であると考えられる。言い換えれば、たとえ仕事が忙しくとも、筆者が努力すれば、運動をすることはできると筆者が思っているということである。

さらに、例16の「いま、まったく運動をしていない。仕事が忙しいことを言い訳にしている」という表現は、例17のように言い換えてもほぼ同じ意味を表すことができる。つまり、

「Xを言い訳にしてY」と「Y。Xを言い訳にしている」(の「言い訳」)は同様の意味を表せるわけである。

17 仕事が忙しいことを言い訳にして、いま、まったく運動をしていない。

さらに、例16の「いま、まったく運動をしていない。仕事が忙しいことを言い訳にしている」という表現は、以下の例18のように言い換えても、ほぼ同じ意味を表すことができる。

18 いま、まったく運動をしていない。「でも、仕事が忙しいからなあ」と自分に言い訳する。

例18は、上記の例15と同様に、「(C) 自分に対する『言い訳』」の典型的な例である。以上のように例16、17、18はほぼ同じ意味を表すが、「言い訳」を「弁解」で言い換えることができるのは、例18の場合だけである。この場合も、上で見たように、「弁解」が使えるのは、その内容が、例18の「でも、仕事が忙しいからなあ」というような具体的な発話に対応する場合に限られることによると考えられる。

以上のように、「Xを言い訳にしてY」「Y。Xを言い訳にしている」というパターンで用いられる「言い訳」は、「(C) 自分に対する『言い訳』」に相当する場合があることを示した。さらに、このようなパターンの「言い訳」は「弁解」で言い換えられないことから、「弁解」の使用には、その内容が具体的な発話に対応する場合に限られるという制約があると考えた。

3.2.2. 「言い訳」の基本的意味に相当する場合

3.2.2. では、2.1. で取り上げた「(A)『言い訳』の基本的意味」に相当する「Xを言い訳に(して)Y」というパターンで用いられる「言い訳」について検討する。まず、以下の作例を見てみよう。

19 うちの夫は仕事が忙しいことを言い訳にして家族をほったらかしにしている。

まず、この例の「言い訳」も「弁解」で言い換えることはできない。さて、この文は、夫に対する妻の不満を述べたものである。まず、「夫が家族をほったらかしにしている」ことは、明らかに家族にとって好ましくないことである(夫にとっても後ろめたいことである可能性がある)。このことに対する夫の言い分(と妻が思っていること)は、「仕事が忙しい」ということである。この「仕事が忙しい」という夫の言い分について、「夫が家族をほったらかしにしている」ことに対する妥当な理由でないと妻が判断して、例19のように言っているわけである。

以上から、ここでの「言い訳」は、2.1. で見た「(A)『言い訳』の基本的意味」(以下に再掲)と同様の意味であると考えられる。

(A) 「言い訳」の基本的意味 (再掲)

ある人 (=A) に関して好ましくないことが生じた (=E₁) という状況で、E₁ について、A が「自分は悪くない、自分には責任はない」といった趣旨の事情説明を行った (=E₂) ことに対して、A とは別の人 (=B) が、E₂ は E₁ に対する妥当な事情説明ではないと判断した場合に、その判断を表すもの。

例19の「言い訳」は「(A)『言い訳』の基本的意味」に相当すると考えられることを、あらためて確認する。まず、「夫が家族をほったらかしにしている」という状況は家族にとって好ましくないことである。この状況に対して、夫は「仕事が忙しい」という(「自分は悪くない」という)言い分がある(と妻が思っている)。その言い分は、「夫が家族をほったらかしにしている」ことに対する妥当なものではないと妻が判断して、「言い訳」という語を用いているわけである。

また、例19は、以下の例20の対話に対応するものだと考えられる。

- 20 妻「あなた、家族をほったらかしにしてどういうつもり」
夫「仕事が忙しいんだから、仕方ないだろ」
妻「そんなの言い訳よ」

例20の「言い訳」は、「(A)『言い訳』の基本的意味」の典型的な例であることから、例19の「言い訳」も「(A)『言い訳』の基本的意味」に集約できることが確認できる。

続いて、以下の例を見てみよう。

- 21 今年もあと二カ月を残すのみ。この時期になると毎年、新年企画をどうしようかと悩む日々が続く。そこで先々週、支局員に企画案の募集をした。

一週間待った。だが、提出者なし。さすがに危機感を感じ、先週、全員を前にどういうつもりなんだと説教してしまった。

支局の年間テーマにも連動する大切な新年企画。日ごろ出来ないことに挑戦するチャンスなのに、それをみすみす見逃すとは、日ごろの忙しさを言い訳に、書きたいテーマも持てないのか。割り当てられた仕事しかしない消極姿勢でいったいどうする、などなど。(『朝日新聞』(朝刊)1998年11月2日、聞蔵IIビジュアル)

この例は、新聞社の支局員の上に立つ人（仮に、支局長とする）が、支局員に、新年企画の案を募集したところ、企画案の提出者がいなかったという状況である。このような状況で、支局長が支局員に発した言葉が、「日ごろの忙しさを言い訳に、書きたいテーマも持てないのか」というものである。「支局員が書きたいテーマも持てない」ということは、支局員自身にとっても支局長にとっても好ましくないことである。このような状況に対して、「日ごろ忙しい」という内容のことを支局員自身が実際に言ったか、支局長が想像したかは不明であるが「日ごろの忙しさ」は妥当な事情説明ではないと支局長が判断し、「日ごろの忙しさを言い訳に、書きたいテーマも持てないのか」と言ったと考えられる。以上から、例21の「言い訳」も「(A)『言い訳』の基本的意味」に相当するとことになる。

さらに、「日ごろの忙しさを言い訳に、書きたいテーマも持てないのか」という表現は、以下の例22の対話に対応するものだと考えられる。

22 支局長「(誰も) 書きたいテーマも持てないのか」

支局員「日ごろ忙しいので」

支局長「そんなのは言い訳だ」

例22の「言い訳」は、「(A)『言い訳』の基本的意味」の典型的な例であることから、例21の「言い訳」も「(A)『言い訳』の基本的意味」に集約できることが確認できる。さらに、例20、22の「言い訳」は「弁解」で言い換えられるのに対して、例19、21の「言い訳」は「弁解」で言い換えられないことから、すでに3.2.1.で述べたように、「弁解」の使用には、その内容が具体的な発話に対応する場合に限られるという制約があると考えられる。

以上のように、「Xを言い訳に(して)Y」というパターンで用いられる「言い訳」は、「(A)『言い訳』の基本的意味」に相当する場合があることを示した。さらに、このようなパターンの「言い訳」は「弁解」で言い換えられないことから、「弁解」の使用には、やはり、その内容が具体的な発話に対応する場合に限られるという制約があると考えられる。

3.3. まとめ

以上、3節では、「言い訳」と「弁解」の相違点を検討した。3.1.では、「言い訳」で言い換えられない「弁解」の用法に注目し、「(D)『言い訳』の基本的意味とは異なる『弁解』」と「(E) 当事者自身が、事情説明が妥当である(可能性がある)と思っていることを表す『弁解』」の意味を記述した。3.2.では、「Xを言い訳に(して)Y」あるいは「Y. Xを言い訳にしている」というパターンで用いられる「言い訳」について検討し、この種の「言い訳」は、「(C) 自分に対する『言い訳』」あるいは「(A)『言い訳』の基本的意味」に相当することを示した。なお、このような「言い訳」は、「弁解」で言い換えられないことから、「弁解」の使用には、

その内容が具体的な発話（言葉で表現されたもの）に対応する場合に限られるという制約があると考えた。

4. おわりに

本稿では、「言い訳」と「弁解」の類似点と相違点を検討した。まず、2節では、「弁解」には、初山（2013a）で記述した『『言い訳』の基本的意味」「視点の転換を伴う『言い訳』」「自分に対する『言い訳』」のそれぞれとほぼ同じ意味・用法があることを示した。次に、3節では、「言い訳」と「弁解」の相違点に注目した。3.1.では、「言い訳」で言い換えられない「弁解」の用法を取り上げ、『『言い訳』の基本的意味とは異なる『弁解』と「当事者自身が、事情説明が妥当である（可能性がある）と思っていることを表す『弁解』」の意味を記述した。3.2.では、「Xを言い訳に（して）Y」「Y。Xを言い訳にしている」というパターンで用いられる「言い訳」について検討し、この種の「言い訳」は、『『言い訳』の基本的意味』あるいは「自分に対する『言い訳』」に相当することを示した。さらに、この種の「言い訳」が「弁解」で言い換えられないことから、「弁解」の使用には、その内容が具体的な発話（言葉で表現されたもの）に対応する場合に限られるという制約があると考えた。

最後に、今後の課題について簡単に述べる。本稿で検討した「言い訳」と「弁解」の類義語として「申し開き／弁明／釈明」等がある。これらの一連の語の類似点と相違点についても今後考察していきたい。

注

- 1) 『明鏡国語辞典』（第二版）、『岩波国語辞典』（第七版）の「弁解」の語釈も同様である。
- 2) 初山（2013b）では、本稿で取り上げる「言い訳」の3つの意味の他に、「うそに近い『言い訳』」と「正当な理由・妥当な事情説明に近い『言い訳』」について記述した。
- 3) 例文中の「言い訳」「弁解」等の考察対象語には実線の下線を施し、何らかの観点から注目すべき部分には点線の下線を施す。
- 4) 初山（2013a: 106）では、「視点の転換を基盤とする諸表現」について、深田・仲本（2008）、Langacker（1987）等を踏まえて簡単に論じた。さらに、初山（2014: 第3講）では、「視点の転換」についてやや詳しく検討した。

引用文献

- 深田智・仲本康一郎（2008）『概念化と意味の世界—認知意味論のアプローチ』、研究社
 初山洋介（2013a）『『言い訳』考（序説）』、『言語文化論集』34-2、pp. 95-109、名古屋大学大学院国際言語文化研究科
 初山洋介（2013b）『『言い訳』考（その2）』、『名古屋大学 日本語・日本文化論集』20、pp. 85-104、名古屋

大学留学生センター
昀山洋介（2014）『日本語研究のための認知言語学』、研究社
Langacker, R. W. (1987) *Foundations of Cognitive Grammar Vol. 1*. Stanford: Stanford University Press.

辞書

北原保雄（編）『明鏡国語辞典』（第二版）、大修館書店
西尾実他（編）『岩波 国語辞典』（第七版）、岩波書店
松村明（編）『大辞林』（第三版）、三省堂
山田忠雄他（編）『新明解国語辞典』（第七版）、三省堂

キーワード：言い訳、弁解、類義語、視点

AbstractOn Modern Japanese *Iiwake* (Excuse) (3): Compared with *Benkai*

MOMIYAMA, Yosuke

The purpose of this paper is to make clear both similar and different aspects of *Iiwake* and *Benkai*. First, *Benkai* has meanings similar to three meanings of *Iiwake*—the basic meaning of *Iiwake*, *Iiwake* involving an alternation of viewpoint, and *Iiwake* spoken to oneself—described in Momiyama (2013a). Second, *Benkai* can be used when its basis is judged to be reasonable by speakers or hearers, while *Iiwake* is unavailable in such cases. Third, *Iiwake* can be used in such constructions as “*X-wo Iiwake-ni(-shite) Y*” and “*Y. X-wo Iiwake-ni-shite-iru*”, unlike *Benkai*. The reason why *Benkai* cannot be used in the above-mentioned constructions is that the use of *Benkai* is restricted to cases where its contents correspond to concrete expressions.

Keywords: *Iiwake*, *Benkai*, synonyms, viewpoint